

平成 20 年度 研究評価を実施

東京都老人総合研究所では、平成 15 年度から、外部委員による評価の仕組みを導入し、研究の成果について厳正な評価を行い、その評価結果を研究所の運営に反映させ、研究の効率的推進と研究活動の活性化を図ってまいりました。

平成 17 年からは研究ビジョンを「サクセスフルエイジング（健康長寿）の実現」とし、グループ研究体制から組織改正されたコア研究体制と、個別の研究チームの枠を超えて研究所が一丸となって取り組む長期プロジェクト研究の 2 つの研究体制により、研究ビジョン達成のために研究を推進してきました。

この現行体制から、来年 4 月には、私ども老人研は東京都老人医療センターと一体化し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターとして医療との連携をさらに充実し、研究事業に邁進していくこととなります。

今回は東京都老人総合研究所として、これまでのコア研究及び長期プロジェクト研究の研究成果を専門的な立場からの評価をお願いしました。

【外部評価委員会の結果について】

1 対象

コア研究及び長期プロジェクト研究の事後評価

2 評価実施日等

○ 日時

A 系 平成 20 年 12 月 18 日

B 系 平成 20 年 11 月 27 日

場所：4 階大会議室

○ 委員

(A 系)

順天堂大学大学院客員教授 後藤佐多良委員長

東京医科歯科大学大学院教授 下門顕太郎

順天堂大学医学部脳神経内科教授 服部信孝

朝日新聞東京本社科学グループ記者 本多昭彦

東京都福祉保健局高齢社会対策部参事 飯塚美紀子

(B 系)

桜美林大学大学院国際学研究科教授 柴田博委員長

東京大学大学院医学系研究科教授 甲斐一郎
筑波大学人間総合科学研究科 教授 田中喜代次
毎日新聞生活報道センター生活家庭グループ記者 大和田香織
東京都福祉保健局高齢社会対策部参事 飯塚美紀子

3 評価報告書について（別紙のとおり）

- 構成：所長挨拶、評価点一覧、委員長挨拶、各チームごとに研究成果等6項目による評価